

Press Release

2019.3.14

「貫く棒の如きもの」

木村翔馬、鈴木哲生、山本悠

-

2019年4月6日(土) - 4月28日(日) 11:00-19:00 月火祝 休廊

オープニングレセプション: 4月6日(土) 18:00-20:00

-

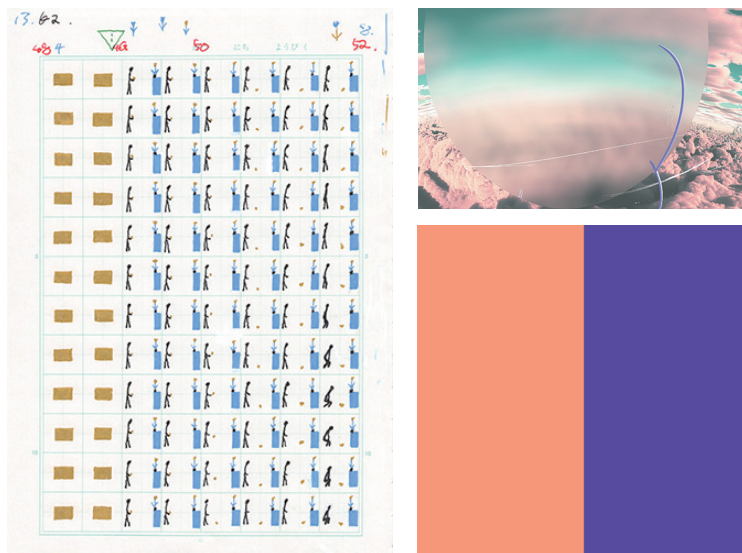
タリオンギャラリーでは、木村翔馬、鈴木哲生、山本悠による展覧会「貫く棒の如きもの」を開催いたします。是非ともご覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

-

VR(バーチャル・リアリティ)技術を手近な遊具のように用立て、造形可能世界のレイヤーと回路を無邪気に交錯させるアーティスト木村翔馬。さまざまな意匠や掬えを血肉化する目と指先の融通無碍な運動性により、文字を変性状態に導くかのようなレタリングを駆使するグラフィックデザイナーの鈴木哲生。そして、ゆるやかな筆致と形式逸脱的な思考によって、視覚芸術の過去と未来を遊泳するイラストレーター山本悠。

本展覧会は、この3名がそれぞれに固有の手法や制作態度をもとに、細分化されたジャンルや肩書きの違いを越えて、「貫く棒の如きもの」という大なる連続性を志向する題目に応答することを起点とします。展覧会タイトルともなる「貫く棒の如きもの」は、高浜虚子の昭和30年の俳句「去年今年貫く棒の如きもの」に由来しています。時間の連続性を区切ることで成り立つ有象無象の人為とともにありながら、その人為世界の表皮の裏側に横たわるもの、意味の編目の隙き間に屹立する最も生々しく途絶えることのない何か。

実体が不確かなままに時代の節目が演出され、その一方では大小様々な属性や立場の違いによる断絶、あるいは空疎な相互理解や交流が喧伝される状況の只中であって、気鋭の若手作家たちがそれぞれにとって最も確からしく時流に左右されないものを提示しようとする本展覧会に、ぜひご期待ください。



【左】山本悠 | アニメーション「Sexless」の原画 | 2019 | 紙に顔料インク | 25.7cm x 18.2cm
【右上】木村翔馬 | 延長される | 2019 | VR映像、可変(プレイエリアは2x2~5x5m)
【右下】鈴木哲生 | 青少年館(仮) | 2019 | ミクストメディア | サイズ可変

木村翔馬 Shoma Kimura

1996年大阪府生まれ。

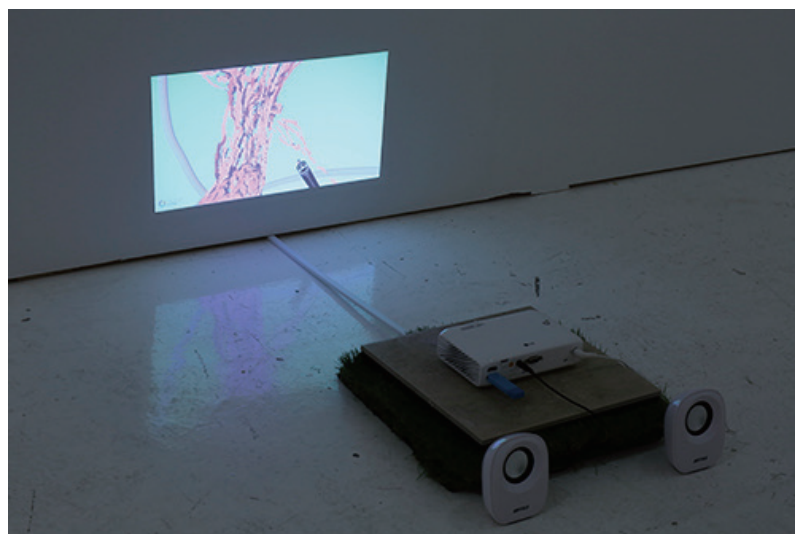
2019年京都市立芸術大学美術科油画専攻卒業、京都市立芸術大学院美術研究科修士課程絵画専攻在学。

主な個展に、「dreamのあとから(浮遊する絵画とVRの不確定)」ninetytwo13gallery (2018/東京)、「展示 / 絵画とVRの不確定」京都市立芸術大学 旧音楽高校 構造設計室 (2018/京都)、「救済する絵画 欠陥する長方形」京都市立芸術大学 小ギャラリー (2017/京都)など。主なグループ展に、「京都市立芸術大学作品展・有志展 2018」京都市立芸術大学 (2019/京都)、「前期展 大学院修士課程 油画専攻 有志」京都市立芸術大学 (2018/京都)、「第四回 CAF賞展」代官山 ヒルサイドフォーラム (2017/東京)など。

主な受賞歴に、「第4回CAF賞」最優秀賞 (2017)、「京都市立芸術大学 作品展・有志展 2017」市長賞 (2017)など。



木村翔馬 | デジタルワールド | 2018 | VR 映像・インスタレーション | 可変 (プレイエリアは 3×3×3m-6×6×6m) | 撮影: 木奥恵三



木村翔馬 | 描いているところ | 2018 | 映像 | 23分39秒 | 撮影: 木奥恵三

鈴木哲生 Tezzo Suzuki

1989年神奈川県生まれ。

2013年東京芸術大学美術学部デザイン科卒業、2015年KABKデン・ハーグ王立美術アカデミー タイプメディア修士課程修了。

主な展覧会に、「光るグラフィック展2」クリエイションギャラリーG8 (2019/東京)、「富士山展1.0」AWAJI Cafe & Gallery (2018/東京)、「TRANSBOOKS」book fair/TAM COWORKING TOKYO(2017/東京)、「会議」Earth & Salt (2016/東京)、「Exhibition Font Thesis」Галерея Промграфика (2015/モスクワ)、「大恐竜博」ホトリ (2015/東京)、「KABK Graduation Festival 2015」Royal Academy of Art The Hague (2015/ハーグ)、「Circle X 2」路地と人 (2014/東京)、「思いで」Earth & Salt (2014/東京)など。



鈴木哲生 | カレンダー | 2019 | 2013年より制作・販売



鈴木哲生 | 無題 | 2017 | アートブックフェア TRANS BOOKS 出展作品

山本悠 Yuu Yamamoto

1988年埼玉県生まれ。イラストレーター。

2012年多摩美術大学美術学部絵画学科卒業。

主な展覧会に、「オオカミの眼」BLOCK HOUSE (2017/東京)、「ポリネシアンじゃだめですか?」TALION GALLERY (2017/東京)、「Surfin'」Surfin' (2017/東京)、「フィットネス。」akibatamabi21 (2016/東京)、「マテリアライジング展Ⅲ 情報と物質とそのあいだ」京都市立芸術大学ギャラリー (2015/京都)、「であ、しゅとるむ」市民ギャラリー矢田 (2013/愛知)などがある。

2013年、主演作品「悠になりたかった犬」でドラマデビュー。



山本悠 | [左] I AM STILL OLIVE | 2017 | 紙にインクジェット | 145.6cm × 103cm
[右] TURTLE COMING | 2017 | 紙にインクジェット | 145.6cm × 103cm | 撮影：木奥恵三



山本悠 | マイマイマイマイマイ | 2016 | 紙にアクリルほか | サイズ可変 | 撮影：新居上実

—

本展覧会に関しまして貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸いです。掲載用写真の貸出、ご質問などございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

[展覧会概要]

展覧会名	貫く棒の如きもの
アーティスト	木村翔馬、鈴木哲生、山本悠
会期	2019 年4月6日(土) - 4月28日(日) 11:00-19:00 定休日：月・火・祝日
会場	TALION GALLERY 東京都豊島区目白2-2-1 B1
企画	上田剛史 (TALION GALLERY ディレクター)

[お問い合わせ]

TALION GALLERY 広報担当

Email: info@taliongallery.com Tel/Fax: 03-5927-9858

171-0037 東京都豊島区目白2-2-1 B1 URL: www.taliongallery.com